

大幅増員と夜勤改善で安全安心の医療・介護を求める要望意見書

長寿世界一を誇る日本の医療は、長年にわたる社会保障費抑制施策の下でも、医師や看護師などの懸命な努力で支えられてきました。

しかし、医療現場は長時間・過密労働により離職率の高い状況にあり、これらが原因で深刻な人手不足につながる悪循環から、医療現場の努力だけでは、日本の安全安心な医療・介護を守ることは困難になっています。

看護師など夜勤交替制労働者の労働条件を抜本的に改善することは、「患者への安全」と「働く者の健康」にとって有益であると考えます。

よって、政府においては、次の事項について実現が図られるよう強く要望します。

記

- 1 ILO看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること。
- 2 医療、社会保障予算を先進国(OECD)並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
- 3 国民(患者・利用者)負担を減らし、安全安心な医療・介護を実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年11月25日

大空町議会議長 後藤 幸太郎

【 送 付 先 】

- ・衆議院議長 横 路 孝 弘
- ・参議院議長 西 岡 武 夫
- ・内閣総理大臣 菅 直 人
- ・総務大臣 片 山 善 博
- ・財務大臣 野 田 佳 彦
- ・厚生労働大臣 細 川 律 夫